



関係人口との つながりを可視化する ワークショップ

津和野高校の卒業生、ふるさと納税の寄付者、何度も観光に来るリピーター。

いま、津和野町を支えているのは「住んでいる人」だけではありません。

では、「関係人口」と呼ばれる人々の定義はなんでしょうか。

そして、関係人口と私たちの活動には、どんなつながりがあるのでしょうか。

本ワークショップでは、関係人口の定義を再確認し、

それぞれの事業や活動が、誰と・どうつながるべきかの

ヒントを探ります。

日 時：2026年2月6日（金）

13:00～15:00

場 所：cafe&hostel TMC

参加費：無料

講師

島根県立大学 地域政策学部

たなか てるみ

准教授 田中 輝美 氏

島根県浜田市出身・在住。大阪大学文学部卒業後、山陰中央新報社に入社し、報道記者として2013年新聞協会賞受賞。2014年、同社を退社し、「ローカルジャーナリスト」という肩書きをつくり独立。2018年総務省ふるさとづくり大賞奨励賞。大阪大学大学院人間科学研究科で関係人口を研究して博士（人間科学）を取得し、2021年島根県立大学地域政策学部に着任した。著書に『関係人口の時代』（中央公論新社）、『関係人口の社会学』（大阪大学出版会、第1回日本社会関係学会賞・最優秀賞受賞）、共著に地域発信の教科書『ローカルジャーナリストガイド』（JCEJ）など。また、「過疎は終わった！」と掲げて100年続ける新しいかたちの年刊誌『みんなでつくる中国山地』を仲間と創刊したほか、2023年、地元の浜田市美又地区にある築88年の旧農協を改修し、宿泊とイベントが可能な「美又共存同榮ハウス」を運営している。

▼ 主催・問い合わせ先

一般財団法人つわの学びみらい

津和野町後田ハ12-3

担当瀬戸

TEL 0856-72-1506

MAIL rina-seto@tsuwano-mm.org